

# 茨城県移動性・安全性向上委員会

---

## 第6回委員会資料(安全性)

平成24年11月22日

国土交通省 常陸河川国道事務所  
茨城県土木部

# 目次

---

1. これまでの事故ゼロプランの取組み
2. 本委員会の審議内容
3. 事故ゼロプランの効果的な推進のためのルール
4. 事故危険区間の対策内容の確認
5. 地域連携による交通安全対策の取組み
6. 今後のスケジュール

# **1. これまでの事故ゼロプランの取組み**

---

# これまでの委員会の取組み

## 道路移動性向上委員会 (H17~H18)

- 第1回：移動性阻害箇所(候補)の選定の考え方
- 第2回：移動性阻害箇所(候補)について  
パブリックコメントについて  

パブリックコメント実施
- 第3回：パブリックコメント結果  
移動性阻害箇所の選定 → 29箇所選定
- 第4回：移動性阻害箇所(29箇所)の対策案について  
パブリックコメントを踏まえた抽出箇所の検討

渋滞対策実施

## 道路安全性向上プロジェクト委員会 (H17~H18)

- 第1回：交通安全要対策箇所(候補)の選定の考え方
- 第2回：交通安全要対策候補箇所(候補)の選定  
交通安全対策(案)の提示  

パブリックコメント実施
- 第3回：パブリックコメント結果  
交通安全要対策箇所の選定 → 22箇所選定
- 第4回：H18年度対策実施箇所の対策内容の確認  
対策実施箇所の整備効果事例

交通事故対策実施

## 茨城県移動性・安全性向上委員会

※安全性に関する審議内容を整理

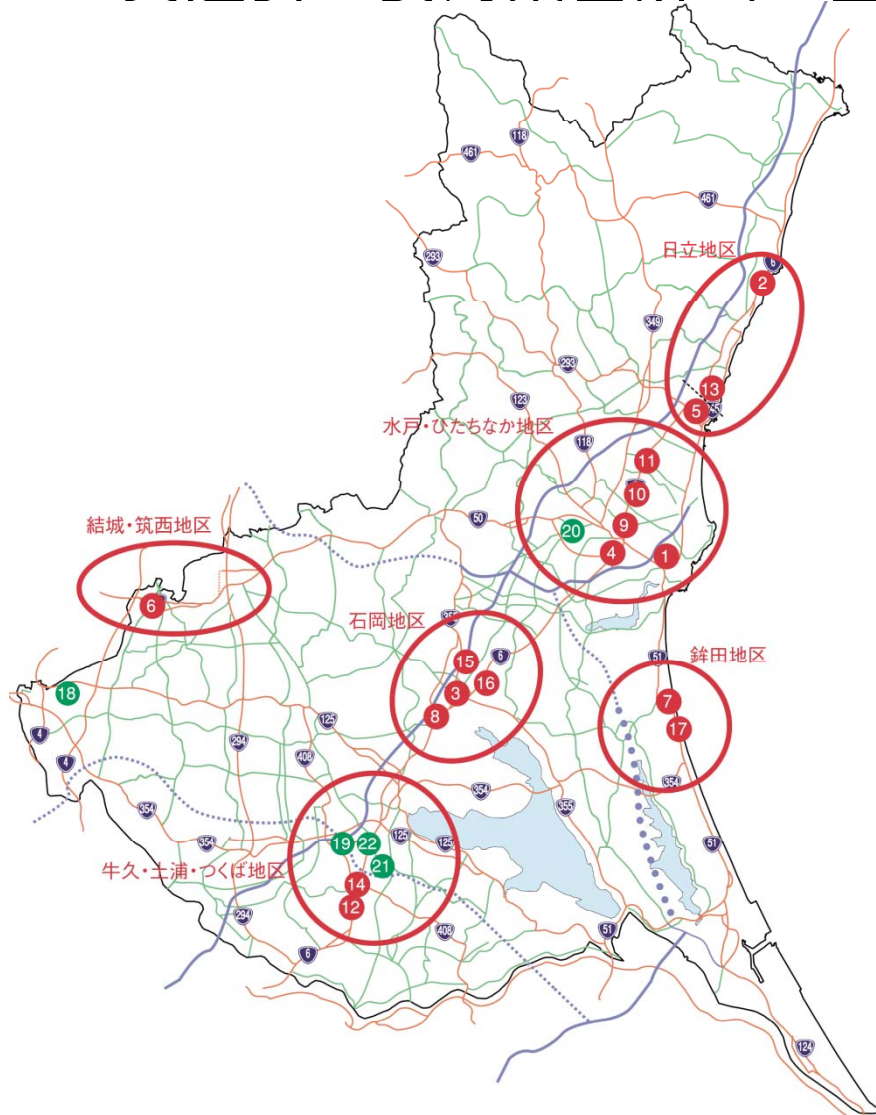
- 第1回 平成21年2月25日  
 H17交通安全要対策箇所のフォローアップ  
 パブリックコメント実施方針の確認  

パブリックコメント実施
- 第2回 平成22年11月19日  
 パブリックコメントの結果  
 新たな交通安全要対策箇所(事故危険区間)選定の考え方
- 合同現地診断 平成22年12月7日  
 事故危険区間のうち3箇所について現地診断実施
- 第3回 平成22年12月9日  
 事故危険区間(代表区間:61区間)の選定
- 第4回 平成23年11月30日  
 H17交通安全要対策箇所のフォローアップ  
 事故ゼロプランの進捗報告(対策案の立案)
- 合同現地診断 平成23年12月20日  
 事故危険区間のうち2箇所について現地診断実施

事故ゼロプラン

# H17交通安全要対策箇所

## ■ H17交通安全要対策箇所 (22箇所)



平成23年までに、全ての箇所が対策を完了しています。

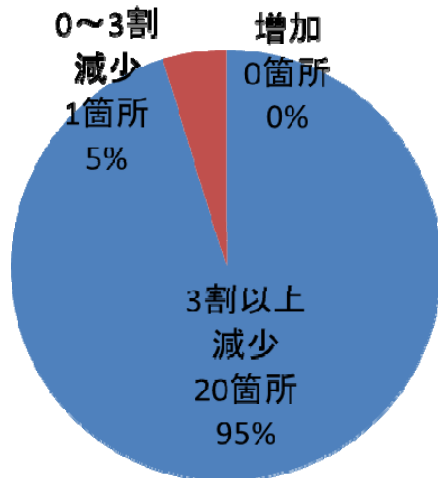
箇所番号	道路管理者	路線名 or 地先名		箇所名	対策年
1	国	国道51号	水戸市塩崎町	塩崎交差点	H18
2	国	国道6号	日立市相田町1丁目	相田町(単路)	H18
3	国	国道6号	石岡市石岡	山玉台交差点	H18
4	国	国道6号	水戸市酒門町	酒門町交差点	H19
5	国	国道6号	日立市石名坂	石名坂交差点	H18
6	国	国道50号BP	結城市	鹿窪運動公園交差点	H18
7	国	国道51号BP	鉾田市柏熊	柏熊交差点	H18
8	国	国道6号	石岡市国府	国府(単路)	H18
9	国	国道6号	ひたちなか市市毛	日製工場前交差点	H18
10	国	国道6号	ひたちなか市市毛	市毛十字路交差点	H18
11	国	国道6号	ひたちなか市佐和	孫目交差点	H19
12	国	国道6号	牛久市田宮町	田宮跨線橋西交差点	H18
13	国	国道6号	日立市森山町	森山町交差点	H20
14	国	国道6号	牛久市田宮町	田宮町交差点	H23実施
15	国	国道6号	石岡市旭台1丁目	旭台1丁目交差点	H18
16	国	国道6号	石岡市東石岡	東石岡(単路)	H18
17	国	国道51号BP	鉾田市大竹	大竹(単路)	H19
18	県	国道125号	古河市	東牛谷交差点 ~旧古河市境	H18
19	県	国道354号	つくば市	大角豆交差点 ~稲荷前交差点	H18
20	県	主要地方道 水戸神栖線	水戸市	元台町河和田線交差点 ~千波十文字	H20
21	県	一般県道 荒川沖阿見線	阿見町	阿見住吉交差点 ~土浦市境	H19
22	県	国道354号	つくば市	大角豆交差点	H18

# H17交通安全要対策箇所のフォローアップ

- ・H17交通安全要対策箇所の効果評価結果をみると、対策実施により、効果が発現しています。
- ・そのため、追加対策の検討が必要な箇所はありませんが、今後も事故が増加していないかモニタリングを続けていきます。
- ・対策工種別の効果評価結果で高い効果がみられた工種に関しては、今後も積極的に実施していきます。

## 【箇所別の効果評価】

対策を実施した21箇所について対策前後の事故件数を比較すると、95%以上の箇所は3割以上減少しており、高い対策効果が表れている。



### 【対策効果評価対象】

- ・全22箇所のうち、H18～H20に対策完了した21箇所について効果評価を実施（H23対策完了の田宮町交差点を除く）

### <対象事故データ>

- ・対策前：選定時のH12～H15
- ・対策後：H21～H22

## 【事故類型別 対策工種別の効果評価】

下記の対策は、高い効果が見られた。事故危険区間での対策検討時に積極的に採用。  
 追突：『路面標示【追突注意】』と『注意喚起標識【追突注意】（電光方式）』の併用  
 右折時：『右折導流線の設置』  
 夜間時の追突：『注意喚起標識【追突注意】（電光方式）』

着目事故	対策工種	箇所数	対策後		
			対策前 事故件数	事故件数	減少率
追突	路面標示【追突注意】	17	150.5	83.0	45%減
	減速路面標示【ドットライン】	6	11.8	6.5	45%減
	注意喚起標識【追突注意】（電光方式）	4	16.8	3.0	82%減
	注意喚起標識【追突注意】	5	25.0	12.5	50%減
	右折レーンの延伸	3	12.8	4.0	69%減
	路面標示【追突注意】+減速路面標示【ドットライン】	5	10.5	6.0	43%減
	路面標示【追突注意】+注意喚起標識【追突注意】（電光方式）	3	13.5	2.0	85%減
右折時	路面標示【追突注意】+注意喚起標識【追突注意】	5	25.0	12.5	50%減
	右折導流線の設置	5	6.8	1.5	78%減
夜間追突	注意喚起標識【追突注意】（電光方式）	4	6.5	0.5	92%減
	路面標示【追突注意】+注意喚起標識【追突注意】（電光方式）+自発光道路標	3	4.5	0.5	89%減

※右折導流線の設置は、路面標示【右折の方法】および路面標示【指導線】を含む

※3箇所以上で実施されている対策工種を抽出

# これまでの事故ゼロプランの取組み

- ・茨城県移動性・安全性向上委員会では、平成17年度に選定した交通安全要対策箇所(22箇所)の次の施策として、「成果を上げるマネジメント」の一環で、平成22年度に、事故データ及び利用者等の声から交通安全上課題を有する事故危険区間(代表区間:61区間)を選定し、「茨城県事故危険区間」(事故ゼロプラン)を公表しました。
- ・平成23年度開催した委員会では、事故危険区間(代表区間)の事故対策方針(案)を提示し、その後平成23年度対策実施区間に関して対策内容を承認して頂きました。

## ■茨城県移動性・安全性向上委員会の取組み(H22年度)

### ー茨城県内の事故危険区間(事故ゼロプラン)の選定ー

県内の約19,000区間の事故データを分析

### 「第2回茨城県移動性・安全性向上委員会」選定方法の確認

- データに基づく選定
  - ・死傷事故率
  - ・茨城県内の特徴的な事故に関する指標

+

- データ以外による危険(安全性が危惧される)区間の選定
  - ・パブリックコメント
  - ・利用者の声

事故危険区間(529区間)を選定

合同現地診断(3区間)

- ・国道51号 城南三丁目交差点
- ・国道50号 三の丸一、二丁目交差点
- ・国道50号 石川町交差点

「第3回茨城県移動性・安全性向上委員会」  
事故危険区間から代表区間(61区間)の選定

「茨城県事故危険区間」公表

## ■茨城県移動性・安全性向上委員会の取組み(H23年度)

### ー事故危険区間(事故ゼロプラン)の進捗報告ー

「第4回茨城県移動性・安全性向上委員会」  
「茨城県事故危険区間」の対策方針(案)の確認

合同現地診断(2区間)

- ・国道6号 小浮気交差点
- ・国道6号 学園東大通り入口交差点

意見を踏まえた対策案の立案(H23年度対策実施区間)

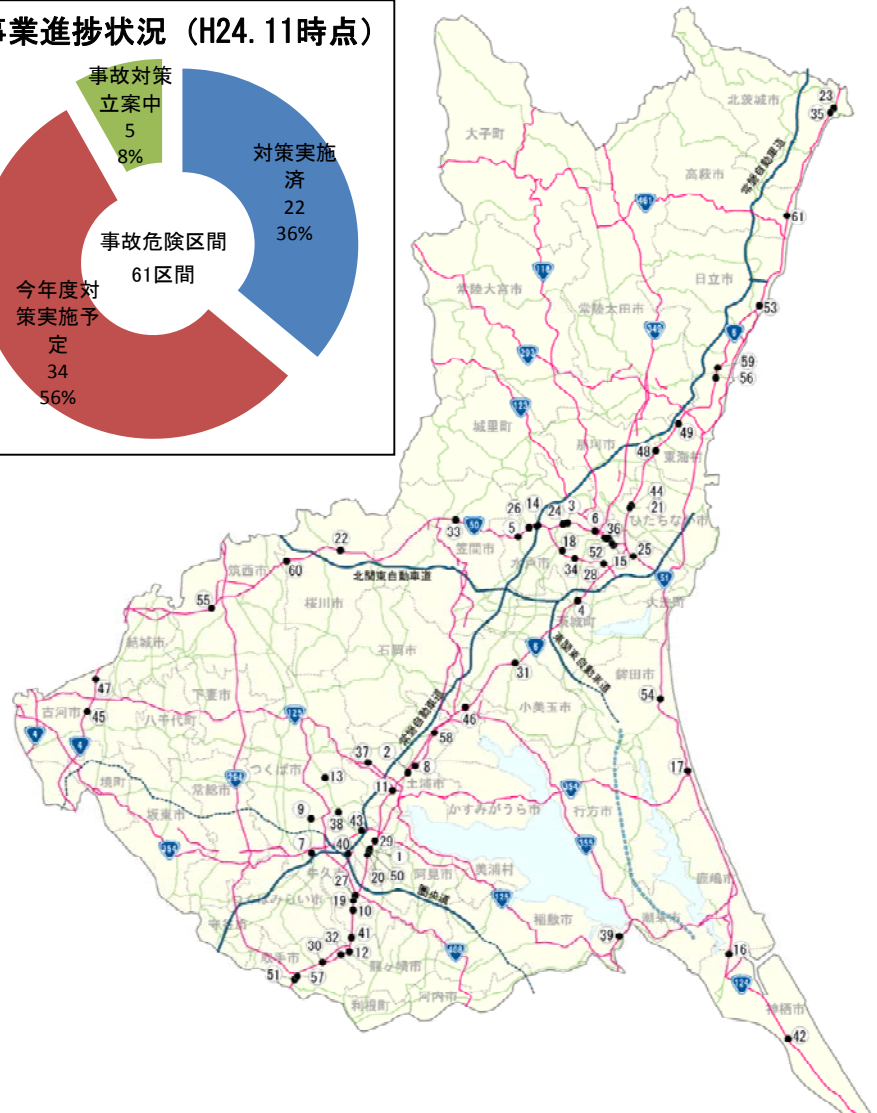
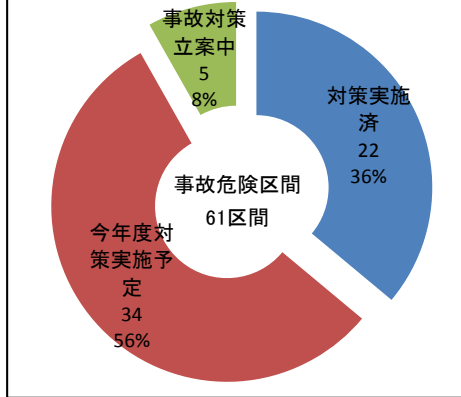
対策内容の承認(H23年度対策実施区間)

「第5回茨城県移動性・安全性向上委員会」後  
H24年度対策実施区間の対策の確認

「第6回茨城県移動性・安全性向上委員会」(今回)

# 茨城県内の事故危険区間（代表区間：61区間）

## ■事業進捗状況（H24. 11時点）



事故危険区間(代表区間:61区間)のうち、約9割が今年度までに対策を実施する予定です。

No.	路線名	対象区間(地先名)	交差点名	管理主体	選定の視点			死傷事故率(件/億台 <sup>a</sup> )		事業の状況
					①死傷事故率	②利用者の声	③特徴的な事故	【H18-H21】	【H19-H22】	
1	国道6号	土浦市中村南3丁目	学園東大通り入口交差点周辺	国	○	○	637.1	536.1	事故対策立案中	
2	国道6号	土浦市東中貫町	(仮)中貫工業団地入口(北)交差点	国	○	○	600.3	682.2	今年度対策実施予定	
3	国道50号	水戸市石川1丁目	石川町交差点周辺	国	○	○	862.9	962.3	事故対策立案中	
4	国道6号	東茨城郡茨城町長岡	長岡新田交差点	国	○	○	510.3	400.4	H23対策実施済	
5	国道50号	水戸市中原町	跡橋北交差点	国	○	○	493.2	462.5	H23対策実施済	
6	国道50号	水戸市大工町2丁目	大工町2丁目交差点	国	○	○	159.8	192.5	H23対策実施済	
7	主要地方道19号(取手つくば線)	つくば市上横橋	善正交差点	茨城県	○	○	317.7	317.7	H23対策実施済	
8	国道6号	かすみがうら市上福吉	(仮)清水(北)交差点周辺	国	○	○	354.7	300.2	今年度対策実施予定	
9	県道123号(土浦板東線)	つくば市学園南	大境交差点	茨城県	○	○	409.3	357.5	今年度対策実施予定	
10	国道6号	牛久市牛久町	(仮)牛久駅西出口(南)交差点	国	○	○	338.6	290.2	今年度対策実施予定	
11	国道6号	土浦市常名	(仮)真鍋踏道橋(南)交差点	国	○	○	412.6	382.8	今年度対策実施予定	
12	国道6号	龍ヶ崎市小通幸谷町	小通幸谷交差点	国	○	○	452.2	517.1	今年度対策実施予定	
13	主要地方道55号(土浦つくば線)	つくば市天王台2丁目	台坪入口交差点	茨城県	○	○	420.3	336.2	今年度対策実施予定	
14	国道50号	水戸市加倉井町	常盤道高架下交差点	国	○	○	432.1	379.7	今年度対策実施予定	
15	国道51号	水戸市柳町1丁目	城南3丁目交差点	国	○	○	422.9	297.1	今年度対策実施予定	
16	国道124号	神栖市野川	掘割川交差点	茨城県	○	○	355.4	250.9	今年度対策実施予定	
17	国道51号	鉾田市上	(単路区間)	国	○	○	392.1	522.4	今年度対策実施予定	
18	国道50号	水戸市見川町	見川町交差点	国	○	○	423.4	441.1	H22対策実施済	
19	国道6号	牛久市田宮町	田宮町交差点	国	○	○	362.7	314.4	H23対策実施済	
20	国道6号	土浦市荒川沖西2丁目	荒川沖交差点	国	○	○	356.8	306.4	今年度対策実施予定	
21	国道6号	ひたちなか市市毛	少年刑務所北側交差点	国	○	○	239.3	202.3	H23対策実施済	
22	国道50号	桜川市青柳	(仮)東桜川3丁目交差点	国	○	○	288.7	263.8	H23対策実施済	
23	国道6号	北茨城市大津町	常北中下交差点	国	○	○	192.6	160.9	H23対策実施済	
24	国道50号	水戸市大塚町	大塚町交差点	国	○	○	287.6	288.7	今年度対策実施予定	
25	国道51号	水戸市谷田町	谷田町交差点	国	○	○	318.5	254.4	H23対策実施済	
26	国道50号	水戸市大足町	大足東交差点	国	○	○	290.1	318	H23対策実施済	
27	国道6号	牛久市柏田町	柏田町交差点	国	○	○	241.8	193.5	今年度対策実施予定	
28	国道50号	水戸市元吉田町	吉田小東交差点	国	○	○	250.2	235.7	今年度対策実施予定	
29	国道6号	土浦市中	原の前交差点	国	○	○	305.8	127.6	今年度対策実施予定	
30	国道6号	取手市小浮気	小浮気交差点	国	○	○	342.6	341.8	今年度対策実施予定	
31	国道6号	小美玉市堅倉	堅倉交差点	国	○	○	256.7	163.4	今年度対策実施予定	
32	国道6号	取手市宮和田	文巻橋交差点	国	○	○	258.4	193.9	今年度対策実施予定	
33	国道50号	空間市空間	(仮)才木(東)交差点	国	○	○	323.6	146.6	H23対策実施済	
34	国道50号	水戸市千波町	千波海道付交差点	国	○	○	254.1	237.5	H23対策実施済	
35	国道6号	北茨城市関南町神岡下	(仮)仁井田(南)交差点	国	○	○	256.8	193.1	H23対策実施済	
36	国道51号	水戸市三の丸2丁目	三の丸1、2丁目交差点周辺	国	○	○	359.5	318.3	今年度対策実施予定	
37	国道125号	土浦市藤沢	新治倉南交差点	茨城県	○	○	396.5	356.9	H23対策実施済	
38	主要地方道55号(土浦つくば線)	つくば市竹園3丁目	近隣公園入口交差点	茨城県	○	○	292.3	146.2	今年度対策実施予定	
39	国道51号	福敷市八筋川	(仮)境島(南)交差点	国	○	○	215.3	215.2	H23対策実施済	
40	県道273号(館野荒川沖停車場線)	つくば市稲岡	屋敷台交差点	茨城県	○	○	326.8	217.9	今年度対策実施予定	
41	国道6号	龍ヶ崎市庄兵衛新田町	(単路区間)	国	○	○	253.9	253.9	今年度対策実施予定	
42	国道124号	神栖市太田	西宝山交差点	茨城県	○	○	280	217.8	今年度対策実施予定	
43	国道354号	つくば市下広岡	下広岡交差点	茨城県	○	○	239.1	173.9	H22対策実施済	
44	国道6号	ひたちなか市市毛	田彦二本松交差点	国	○	○	184.1	202.3	今年度対策実施予定	
45	国道4号	古河市大和田	大和田交差点	国	○	○	234.7	198.4	H23対策実施済	
46	国道6号	石岡市石岡	石岡市役所入口交差点	国	○	○	156	138.7	事故対策立案中	
47	国道4号	古河市上片田	上片田付近交差点	国	○	○	148.7	148.9	H23対策実施済	
48	国道6号	那珂市向山	笠松交差点	国	○	○	147.3	183.9	今年度対策実施予定	
49	国道6号	日立市下土木内町	下土木内町交差点	国	○	○	127.1	101.6	H23対策実施済	
50	国道6号	土浦市荒川沖西1丁目	(仮)学園東大通り入口(南)交差点	国	○	○	101.9	382.9	事故対策立案中	
51	国道6号	取手市新町2丁目	取手駅西入口交差点	国	○	○	177.2	129.7	H23対策実施済	
52	国道51号	水戸市榎町	榎町橋交差点	国	○	○	232.6	169.7	今年度対策実施予定	
53	国道6号	日立市田原町4丁目	(単路区間)	国	○	○	195.4	158.3	今年度対策実施予定	
54	国道51号	鉾田市桜山	(単路区間)	国	○	○	254.9	196.2	今年度対策実施予定	
55	国道50号	筑西市玉戸	(単路区間)	国	○	○	181.7	181.6	事故対策立案中	
56	国道6号	日立市千石町4丁目	塙山十字路交差点	国	○	○	161.5	141.5	今年度対策実施予定	
57	国道6号	取手市白山1丁目	国道294号入口交差点	国	○	○	165.4	141.4	今年度対策実施予定	
58	国道6号	かすみがうら市下土田	(単路区間)	国	○	○	150.6	112.9	今年度対策実施予定	
59	国道6号	日立市千石町2丁目	(単路区間)	国	○	○	164.3	129.2	今年度対策実施予定	
60	国道50号	桜川市上野原地新田	(単路区間)	国	○	○	70	69.9	H23対策実施済	
61	国道6号	高萩市東本町3丁目	(単路区間)	国	○	○	76.3	91.4	今年度対策実施予定	

### ＜事故危険区間選定の視点＞

- ①死傷事故率 死傷事故率が高い(死傷事故率300件/億台キロ以上)区間を選定
- ②利用者の声 パブリックコメント、道路利用者の声などから交通安全対策が必要と判断した区間を選定
- ③特徴的な事故 死亡事故、歩行者・自転車事故、夜間事故、高齢者事故、横断歩行者事故、追突事故、正面衝突など県内の特徴的な事故のいずれが多く発生している区間を選定



# 平成23年度対策実施事例 (1/2)

## 【No.19】国道6号 牛久市田宮町 田宮町交差点

うしくし たぐうちょう たぐうちょう こうさてん

### 位置図



### 実施した事故対策

対策前



対策後



※隣接する田宮跨道橋西交差点との一体整備

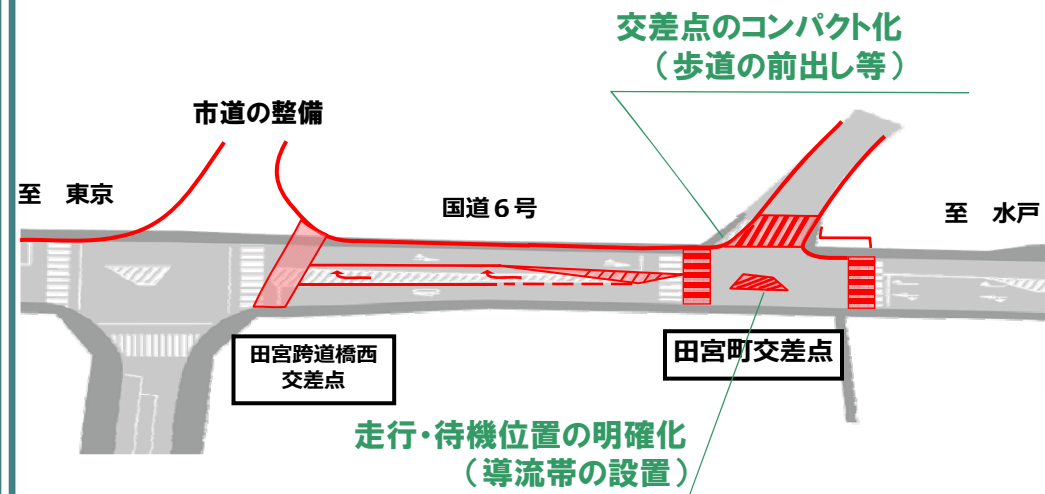
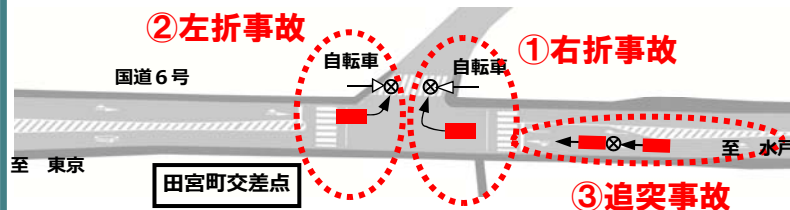
### 事故発生状況

※H19-H22年

死傷事故率 (件/億台キロ)	管内 順位	事故件数(件/4年)					
		右折	左折	追突	出会頭	その他	計
314.4	73位	2	3	5	2	1	13

#### 【着目事故】

- ①横断歩道で、右折車と自転車の右折事故が発生：2件
- ②横断歩道で、左折車と自転車の左折事故が発生：3件
- ③交差点手前で、追突事故が発生：5件



# 平成23年度対策実施事例 (2/2)

つちうらしふじさわ にいはりちょうしゃみなみ こうさてん

## 【No.37】国道125号 土浦市藤沢 新治疗舎南交差点

### 位置図



### 実施した事故対策

対策前



対策後



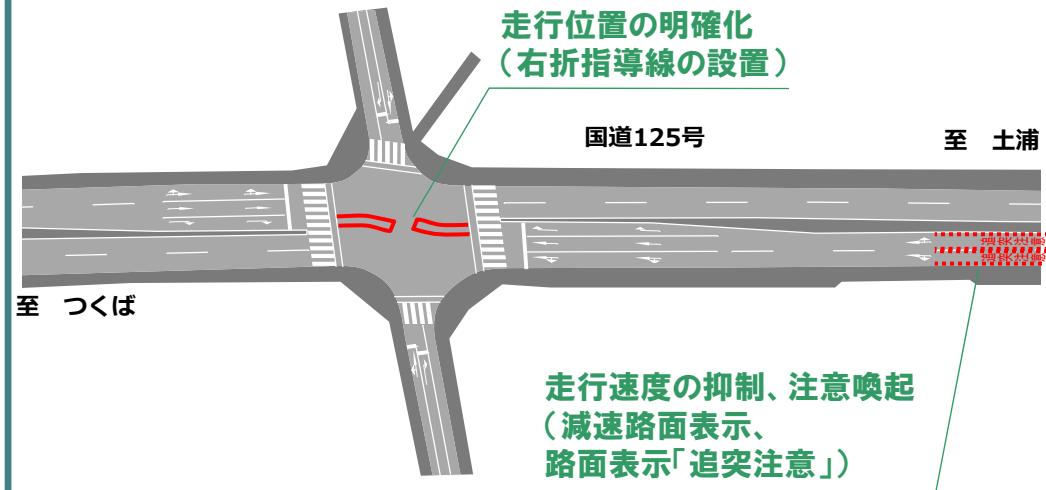
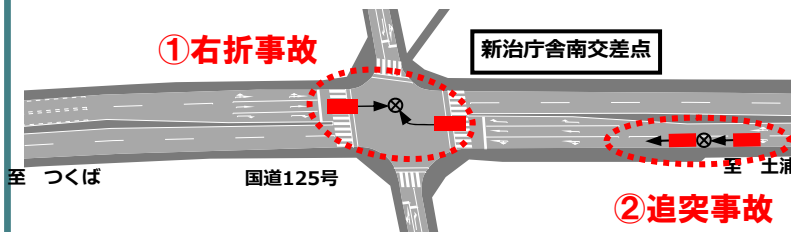
### 事故発生状況

※H19-H22年

死傷事故率 (件/億台キロ)	管内 順位	事故件数(件/4年)				
		右折	追突	出会頭	その他	計
356.9	560位	3	2	3	1	9

#### 【着目事故】

- ① 交差点内において右折事故が発生：3件
- ② 交差点流入部において追突事故が発生：2件



## 2. 本委員会の審議内容

---

## 本委員会の審議内容

### ■ ①事故ゼロプランの効果的な推進のためのルールについて

- ・新たに対策すべき区間を選定するルールを設定し、その考え方に基づいた区間を選定
- ・対策を実施した区間については、対策効果の評価方法を設定

⇒新たな事故危険区間や評価方法などを確認して頂きます

### ■ ②事故危険区間の対策内容について

- ・昨年度までにおいて、事故危険区間(代表区間:61区間)のうち、22区間について対策方針を確認
- ・今年度対策実施予定の34区間について対策内容を事前に送付し、意見を収集

⇒頂いた意見を踏まえた対策内容について確認して頂きます

### ■ ③地域連携による交通安全対策の取組みについて

- ・行政だけでなく、一般の方及び地元と連携して交通安全対策に取り組むことが必要
- ・地域連携としてこれまでの取組みと、今後の取組み方針について報告

⇒地域と連携した交通安全対策の取組み方針について確認して頂きます

# 3. 事故ゼロプランの効果的な 推進のためのルール

---

# 現状の課題と対応

・事故ゼロプラン開始から2年が経過し、事故危険区間の対策が進捗していることや、事故発生状況や地域要望が変化していることを踏まえ、事故ゼロプランの効果的な推進のためのルールを策定します。

## 課題

## 対応

### 課題①事故発生状況の変化

- ・交通事故は道路環境や沿道状況の変化により、発生状況の変化が起こりやすく、迅速な対応が必要
- ・事故ゼロプランのスタートから2年が経過し事故データが蓄積したため、事故発生状況を見直し、対策が必要な区間については、事故危険区間に追加

### 事故危険区間の追加方法の策定

I. 最新事故データのチェックによる追加

### 課題②新たな地域からの要望

- ・交通事故が多く発生していない区間でも、新たに危険を感じるようになった場合、対応が必要
- ・アンケート等により危険性を感じる区間に関する情報を収集し、危険な状況や対策の必要性があった区間については、事故危険区間に追加

II. 新たな地域要望による追加

### 課題③対策実施後の対応

- ・事故危険区間において事故を確実に削減させるため、対策後についてモニタリングをしていくルールが必要
- ・過去の事故対策実施区間に関しても、対策実施後に効果評価を実施し、必要に応じて追加対策を検討・実施

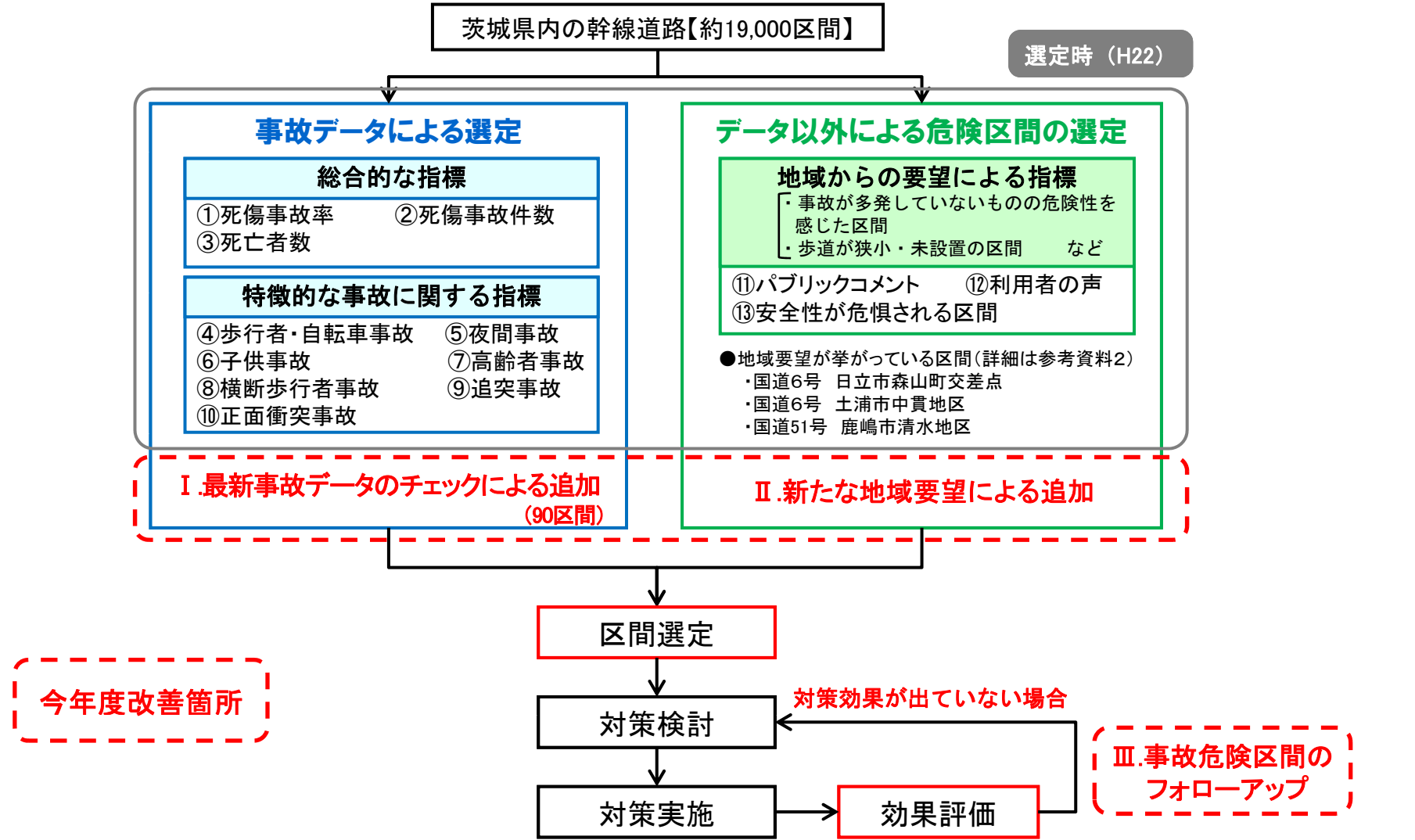
### 事故危険区間のフォローアップルールの策定

III. 事故危険区間のフォローアップ

以上より、事故危険区間の追加方法及びフォローアップルールを確認して頂きます

# 事故ゼロプランの効果的な推進のためのルール

- ・事故ゼロプランを効果的に推進するため、前述した対応策を、これまでの事故ゼロプランの取組みとあわせて整理しました。
- ・下記のルールに基づいた取組みを毎年実施し、事故ゼロプランを推進していきます。



# I. 最新事故データのチェックによる追加 (1/2)

## ■ 最新事故データのチェック方法

- ・交通事故は道路環境や沿道状況の変化により、発生状況の変化が起こりやすく、迅速な対応が必要です。
- ・そのため、新たに事故が多発している箇所がないか、最新の事故データにより毎年チェックしていきます。
- ・選定基準に新たに該当した区間については、事故危険区間として追加し対策を検討・実施していきます。

### 最新事故データのチェック方法

- 使用するデータ  
最新の4年分の交通事故データ  
(今年度はH19-H22)
- 選定指標・基準  
H22選定時の選定基準 (右表参照)
- 実施のタイミング  
交通事故データの更新に合わせ、毎年実施

■事故データによる選定指標・基準

区分	選定指標	選定基準※	管内 平均値※
総合的な指標	①死傷事故率	300件/億台キロ 以上	
	②死傷事故件数	31件 (平均の 5倍) 以上	6.1件
	③死亡者数	2人 (平均の1.8倍) 以上	1.1人
県内の特徴的な事故に関する指標	④歩行者自転車事故	8件 (平均の4.2倍) 以上	1.9件
	⑤夜間事故	15件 (平均の 5倍) 以上	2.9件
	⑥子供事故	3件 (平均の2.5倍) 以上	1.2件
	⑦高齢者事故	5件 (平均の3.6倍) 以上	1.4件
	⑧横断歩行者事故	5件 (平均の3.6倍) 以上	1.4件
	⑨追突事故	21件 (平均の 5倍) 以上	4.2件
	⑩正面衝突事故	2件 (平均の1.8倍) 以上	1.1件

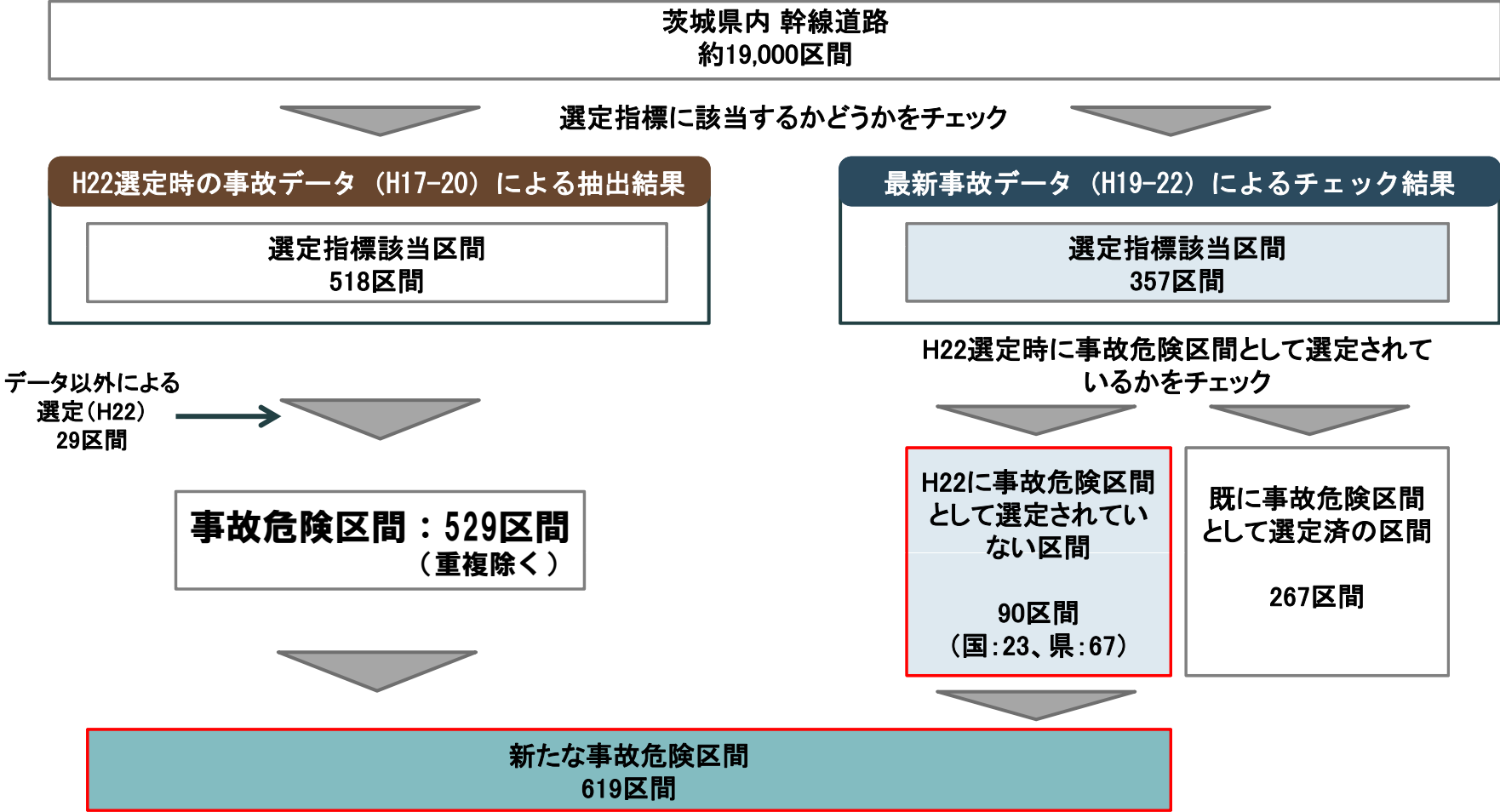
※数値は、対象事故が発生している箇所における選定当時の事故データ4年分 (H17-H20) の値



# I. 最新事故データのチェックによる追加 (2/2)

## ■ 新たな事故危険区間の選定

- ・最新の事故データ(H19-H22)のチェックから、新たに選定指標に該当するのは90区間です。
- ・これらの区間を事故危険区間として追加し、今後緊急性の高さなどを考慮して対策の検討・実施を行います。



## Ⅱ. 新たな地域要望による追加 (1/2)

- ・交通事故が多く発生していない箇所でも、地域の方が日頃の生活の中で危険を感じている箇所を把握し、対応することが必要です。
- ・そのために、交通管理者や道路管理者から意見を収集することで、地域から要望が挙がっている箇所について把握します。また、様々な道路の利用形態の方の意見を収集するために、一般道路利用者だけでなく職業ドライバーの方が日頃の生活の中で交通安全上危険性を感じている箇所についても把握します。
- ・これらの箇所について、危険な状況や対策の必要性を確認した後に、事故危険区間として追加し、対策を検討・実施します。

### 新たな地域要望の収集方法

**■ 調査対象**

対象区分	対象機関	配布数
交通管理者	茨城県警	所轄28署
道路管理者	国道出張所	5出張所
	茨城県	12出張所
一般道路利用者	交通安全協会	30部程度
	安全運転管理者協議会	30部程度
	交通安全母の会	30部程度
	老人クラブ連合会	30部程度
職業ドライバー	バス協会	30部程度
	トラック協会	30部程度
	ハイヤー・タクシー協会	30部程度

**■ 調査方法**

アンケート配布後、各対象機関にヒアリング調査を実施

**■ 調査内容**

- ・物損事故が多い箇所や、地域から要望が挙がっている箇所の情報
  - ・歩道が狭くて危険など交通安全上危険性を感じる箇所に関する情報
- など

**■ 実施のタイミング**

地域からの要望や事故の発生状況の変化に迅速に対応するため、茨城県警や道路管理者については毎年実施

アンケートの具体的な内容や、スケジュールについては、次ページにて紹介いたします。

# Ⅱ. 新たな地域要望による追加 (2/2)

- ・委員の方には、各団体内でアンケート調査票を配布後、1月上旬ごろまでに回収して頂き、その結果についてそれぞれの団体から挙がった意見として委員の方にヒアリングを行う予定です。
- ・それにより指摘のあった区間について、現地状況などを踏まえて対策の緊急性や必要性を精査した後に、次回委員会にて報告します。

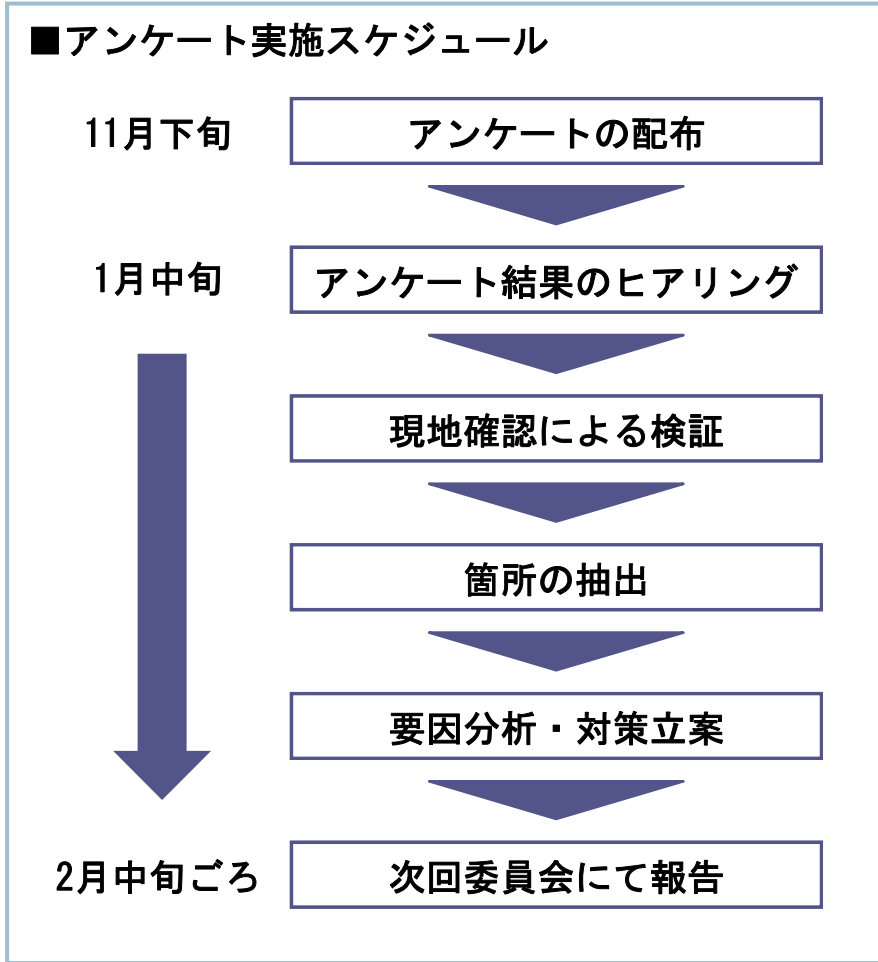
事故の危険性がある箇所（国道、県道）に関するアンケート調査票

位置に関する情報 ※別途添付でも可 (地図のコピーを貼ったものなど)	路線名 (例：国道〇号、県道〇〇線)
	地点地番 (住所) (例：〇〇市〇丁目〇番〇号～〇〇町〇〇番地)
	区間又は交差点名 (例：〇〇交差点、〇〇コンビニ前より北〇m)
危険な状況が分かる情報	危険を感じる状況 (例：交差点内の横断歩道橋により、国道を横断する自転車が見えづらく、左折時に自転車を巻き込む恐れがあり危険である。) (例：歩道が狭く、大型車が横を通過する際に危険を感じる。)
	危険を感じる時の交通手段 (丸を付けてください) 自動車 ・ 二輪車 ・ 自転車 ・ 徒歩 ・ その他 ( )
その他交通安全事業に対するご意見など	

あなたのことについて教えてください

お住まい (市町村) (例：水戸市)	ご年齢 (丸を付けてください) 10代・20代・30代・40代 50代・60代・70代以上	性別 (丸を付けてください) 男 ・ 女
--------------------------	--	----------------------------

※箇所の全景、危険な状況に関わる写真があれば、提供願います。(枚数は問いません)  
 ※その他関連資料がある場合、別途添付してください。(様式は問いません)  
 ※危険箇所が複数ある場合、お手数ですが本調査票を複写してご利用下さい。  
 ※なお、ご回答頂いた個人情報は目的以外の用途では使用致しません。

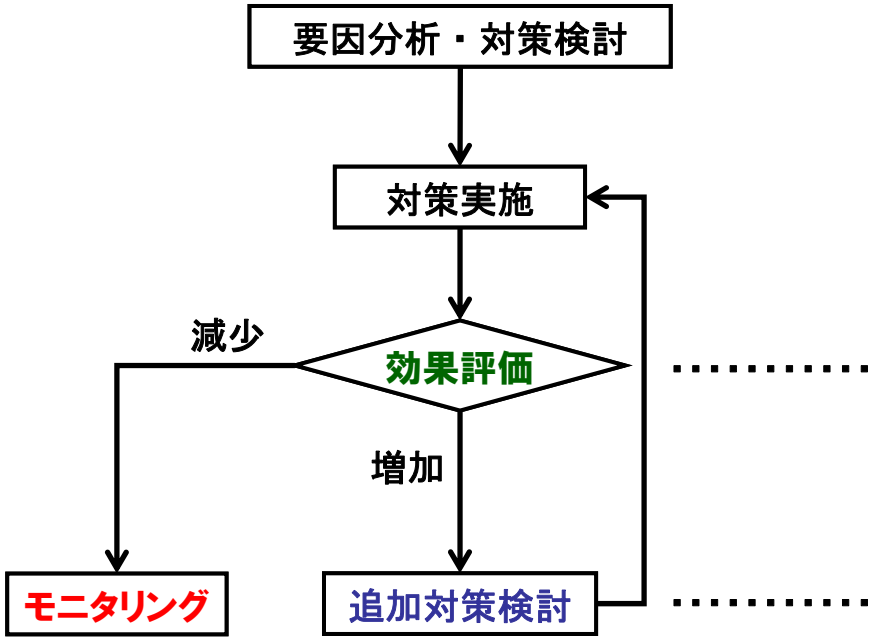


# Ⅲ. 事故危険区間のフォローアップ

## ■ 事故危険区間のフォローアップルール

- ・事故危険区間において事故を確実に削減させるため、事故データの更新にあわせて、毎年、フォローアップを実施していく。
- ・対策実施後の総合評価を行うためには、抽出時と同じ4年間の事故データが必要となるため、評価に時間を要し、十分なフォローアップができない。従って、2年間のデータが蓄積以降、中間評価を実施。

### ■ 効果評価のフロー



※抽出された区間は、事故の危険性が高い箇所であることから、事故が増加に転じないか常にモニタリングしていく

### 効果評価

■ フォローアップ対象  
 中間評価：対策実施後の事故データが2年以上蓄積  
 総合評価：対策実施後の事故データが4年分蓄積

■ 効果評価の視点

< 中間評価 >

- ① 対策前後で交通事故発生件数（総量）を比較
  - ・ 事故総量が減少しているかを検証
- ② 対策前後で事故の種類や当事者別の発生件数を比較
  - ・ 削減を目的とした事故が減少しているか、副作用が発生していないかなどを検証

< 総合評価 >

- ①、②の視点に加えて、「③ 選定指標以下となっているかを検証」

### 追加対策検討

■ 追加対策検討の視点

- ・ 事故要因の見落としなど当初の要因分析は適切か？
- ・ 対策の実施により新たな事故要因が生じていないか？
- ・ 新店舗の立地など沿道状況に変化はないか？

## **4. 事故危険区間の対策内容の確認**

---

## 事故危険区間の対策内容の確認

- ・今年度対策実施予定区間の対策内容について、事前に委員に配布した対策案について意見を照会したところ、20件の意見を頂いた。
- ・頂いた意見を踏まえた、主な修正内容を示す。(修正した対策の図面や頂いた全ての意見への対応方針は参考資料1に整理)

区間名	事故要因	対策案	頂いた意見	意見を踏まえた対策
<b>【No. 11】</b> <small>まなべこどうきょう</small> (仮)真鍋跨道橋 (南)交差点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い速度による側道合流部でのブレーキ遅れ</li> <li>・合流部の視認性が悪いなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減速路面標示の設置</li> <li>・LED「合流注意⇄追突注意」の設置</li> <li>・防草コンクリートの設置</li> <li>・ガードパイプへの付替えなど</li> </ul>	「合流あり」の表示を6号手前にも表示すべき	<b>【追加】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警戒標識「合流あり」を本線に設置</li> </ul>
<b>【No. 12】</b> <small>こどおりこうや</small> 小通幸谷交差点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下り勾配のため、高い速度による交差点でのブレーキ遅れ</li> <li>・県道が斜めに取り付くため交差点が広くなり走行位置が不明確など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導流帯・指導線の設置</li> <li>・停止線の前出し</li> <li>・減速路面標示の設置</li> <li>・注意喚起看板の設置</li> <li>・横断歩道の設置</li> </ul> など	従道路側の横断歩道は、左折車が加速したところにあるので、もう少し6号近くに移動するべきではないか	<b>【追加】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従道路側の横断歩道の前出し</li> </ul> <b>【修正】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導流帯の修正</li> </ul>
<b>【No. 28】</b> <small>よしだしょうひがし</small> 吉田小東交差点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い速度によるブレーキの遅れ</li> <li>・交差点が小さいことによる交差点の認識遅れ</li> <li>・沿道出入り口が分かりづらいことにより左折位置が不明確</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減速路面表示の設置</li> <li>・注意喚起路面表示「速度注意」の表示</li> <li>・沿道出入り口の明示</li> </ul>	従道路から本線へ流入する車両と歩道通行の自転車との接触事故と危険性について対策を取るべき	<b>【追加】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央分離帯の植栽撤去</li> <li>・ピクトグラム「車に注意」</li> <li>・看板「横断者注意」</li> </ul>

## **5. 地域連携による**

# **交通安全対策の取組み**

---

# 地域連携による交通安全対策の取組み

- ・広報活動を積極的に展開し、①地域へ情報の発信⇒②地域と危険性の共感⇒③地域と対策検討の協働⇒④地域と事業実施状況や成果の共有を図り、地域連携による交通安全対策を推進しています。
- ・これまで現地表示や記者発表による情報の発信や、委員と共に合同現地診断などを行ってきました。
- ・今年度以降もこれらの取組みを引き続き継続し、新たな事故危険区間についても安全性向上を図っていきます。

## ①情報の発信

- 事故危険区間の周知  
現地表示（看板設置）（詳細は次頁）や事故危険区間の記者発表等による広報活動を展開



## ②危険性の共感

- 広報活動による事故危険区間の認識
- 合同現地診断等により事故発生区間及びその周辺の危険性を共感



## ③対策検討の協働

- アンケートや合同現地診断による協議・意見交換
- 地域の実情、背景を勘案した対策立案



## ④事業実施状況と成果の共有

- 広報活動により対策実施報告と対策効果を逐次情報発信し、その成果を地域と共有



公表した事故ゼロプランのリーフレット

## 合同現地診断の毎年の実施 本委員会における対策立案結果の確認

常陸河川国道事務所ホームページによる委員会資料の公開



## 「①情報の発信」事例（事故危険区間の現地表示による危険区間の周知）

- ・地域住民が事故危険区間を適切に認識することによっても事故削減は期待できます。
- ・地域住民との協働による事故削減に観点により、事故ゼロプランの対象区間である旨の現地表示（注意喚起看板の設置等）を行います。
- ・事故ゼロプランの現地表示はこれまで2箇所を実施しており、今後も積極的に取り組んでいきます。

国道6号小浮気交差点における設置例  
（追突事故多発区間の明示）



国道6号学園東大通り入口交差点における設置例  
（追突事故多発区間の明示）



今年度においても、事故が多発している区間や、重大な事故が発生している区間など、現地表示により対策の削減が期待できる区間を数区間抽出し、看板の設置を実施していきます。

## 「③対策検討の協働」 (合同現地診断による対策の立案)

### 合同現地診断の目的

- ・合同現地診断は、事故危険区間のうち重大な事故が多発しているなど、課題が大きく対策が困難であると考えられる箇所について、委員の皆さまに現地における課題などの意見を頂き、対策立案に反映することを目的として実施しています。
- ・今年度は、次回委員会にて提示する、地域からの追加箇所を加えた新たな事故危険区間の中から、特に課題の大きな箇所について実施します。(3月上旬実施予定)

### 過年度に合同現地診断を実施した区間について

- ・平成22年度に3区間、平成23年度に2区間の事故危険区間について、委員の方に参加いただき、合同現地診断を行ってきました。
- ・これまで実施した5区間のうち、**3区間**は今年度対策を実施する予定です(対策内容は次頁)。

#### 【平成22年度実施区間】

##### ○ No.3 石川町交差点周辺

⇒関係機関と調整中(来年度実施予定)

##### ○ No.15 城南3丁目交差点

⇒合同現地診断を踏まえた対策を**今年度実施予定**

##### ○ No.36 三の丸1,2丁目交差点

⇒合同現地診断を踏まえた対策を**今年度実施予定**

#### 【平成23年度実施区間】

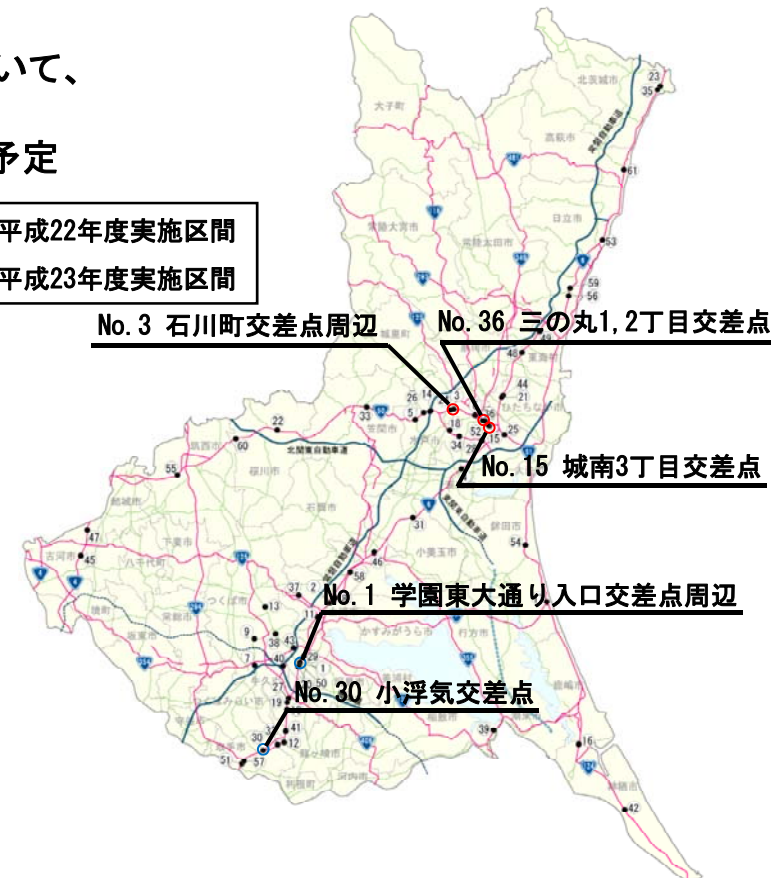
##### ○ No.1 学園東大通り入口交差点周辺

⇒関係機関と調整中(来年度実施予定)

##### ○ No.30 小浮気交差点

⇒合同現地診断を踏まえた対策を**今年度実施予定**

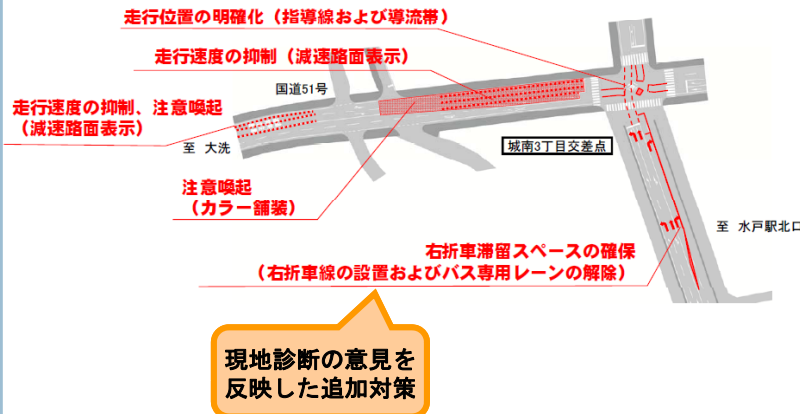
- 平成22年度実施区間
- 平成23年度実施区間



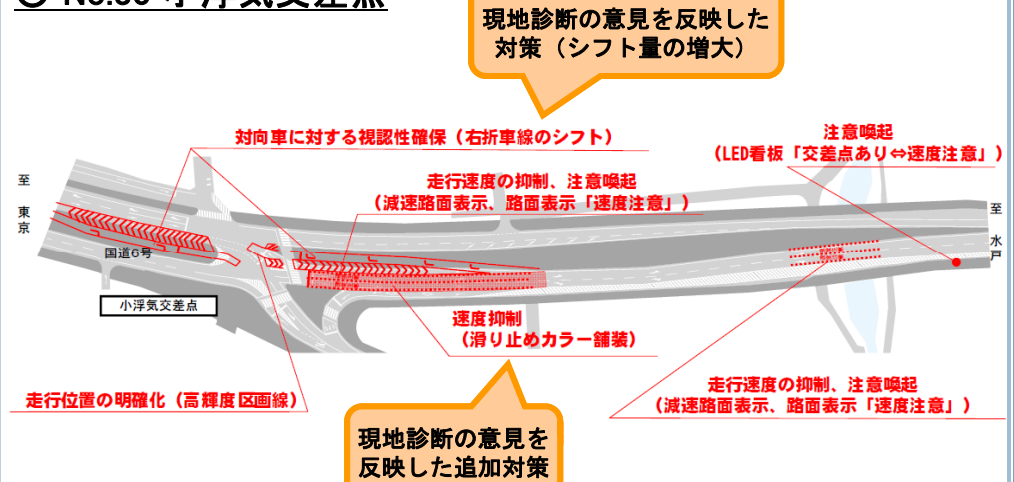
# 過年度に合同現地診断を実施した区間について

## 今年度実施予定の対策内容

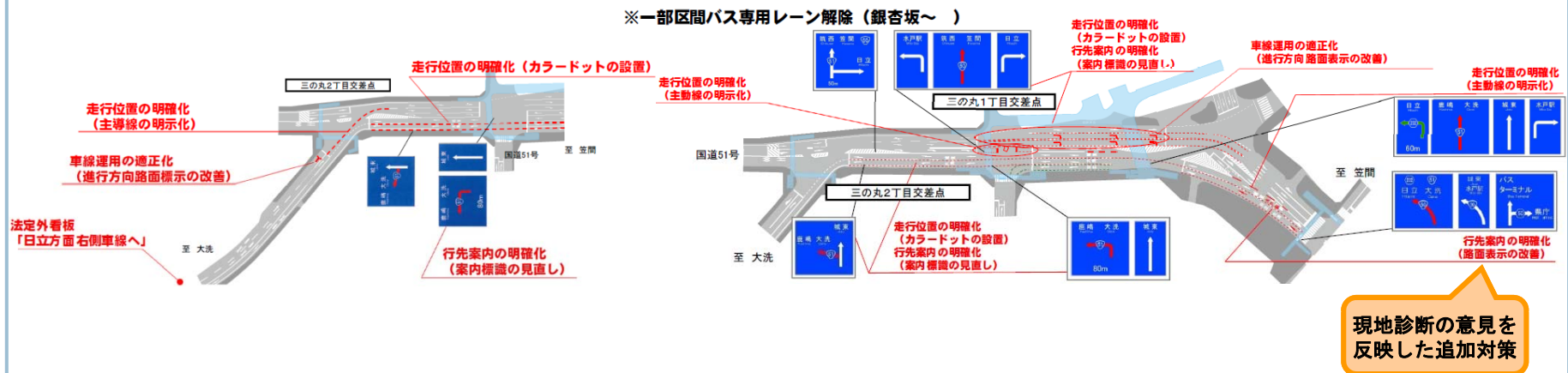
### ○ No.15 城南3丁目交差点



### ○ No.30 小浮気交差点



### ○ No.36 三の丸1,2丁目交差点



## 6. 今後のスケジュール

---

## 今後のスケジュール

### ○本日の委員会

#### 【主な内容】

- これまでの委員会における取組み
- 事故ゼロプランの効果的な推進のためのルール
- 事故危険区間の対策内容の確認
- 地域連携による交通安全対策の取組み

### ○次回委員会(2013年2月頃予定)

#### 【主な内容】

- 新たな事故危険区間の追加の確認
- 平成25年度対策予定区間の対策内容の確認
- 合同現地診断について

### ○合同現地診断(2013年3月上旬頃予定)

- 新たな事故危険区間の合同現地診断実施  
⇒来年度の委員会にて現地診断結果を提示